

# 化学物質等安全データシート (MSDS)

## 1. 製品及び会社情報

製品名 (エポクゾ) MS-440G 主剤 二液性製品 表面仕上材  
製造者 ITW AMERIKAN SAFETY TECHNOLOGIES INC  
565 Eagle Rock Avenue Roseland New Jersey U.S.A  
日本総代理店 (株)シンコー プロダクト販売事業部  
長崎県佐世保市万津町7番13号  
TEL 0956-42-1523 FAX 0956-42-1632  
担当者 プロダクト事業部  
型式承認 国土交通省型式承認番号第 F-119 号 (H15 年 10 月 9 日)

作成者：プロダクト事業部 日付：15/01/05 改正版：1

## 2. 組織、成分情報

成分	CASNO	質量%	OSHA	ACGIH	その他
エポキシ樹脂	25068-38-6	14	未詳	未詳	LD50RAT > 5g/kg (Oral)
1- メトキシ 2- プロパノール	1569-02-4	4	未詳	未詳	
メチル アミルケトン	110-43-0	1	100ppm	100ppm	
アルミノ シリケートミネラル	37244-96-5	10	10mg/m <sup>3</sup>	10mg/m <sup>3</sup>	
硫酸バリウム	7727-43-7	23	5mg/m <sup>3</sup>	5mg/m <sup>3</sup>	
酸化アルミニウム	1344-28-1	48	5mg/m <sup>3</sup>	5mg/m <sup>3</sup>	

結晶二酸化珪素含有量 0.1%以下

危険有害成分 エポキシ樹脂

### 3. 危険有害性の要約

人体災害

眼：刺激性有り。骨材は傷の原因になる。

皮膚：やわらかな刺激と感触がある。

吸入：蒸気により頭痛、吐き気、めまい、呼吸器の刺激になることがある。

経口摂取：特別な注意事項はない。少々有毒性の物質を含む。

接触により

悪化する症状：アレルギー、湿疹、その他の皮膚炎。

発ガン性データ：NTP, IARC, OSHA リストに該当なし。

過度の接触効果：刺激性、過敏症、皮膚炎。

### 4. 応急措置

眼：大量の水で少なくとも 15 分間洗う。医療手当を受ける。

皮膚：汚れた衣服を脱ぐ。接触した部分をマイルドな石鹼と水で洗う。

吸入：新鮮な空気の所へ移動する。呼吸が止まった場合は、人工呼吸を行い医療手当を受ける。

経口摂取：嘔吐を誘発しないこと（溶剤含有）。医療手当を受ける。

### 5. 火災時の措置

消火剤：ドライケミカル又は、化学泡沫。

特別消火対策：点火源を全て取り除く。

蒸気に接触したり、爆発の可能性がある時は、自動吸入マスク等の完全人体保護装置を身につける。

消火を行う者の保護：消火作業の際には有害なガスを吸い込まないように呼吸用保護具を着用し、風上から消火作業を行う。

爆発の危険性：密閉した容器は高温に接すると破裂することがある。（内部圧力増加のため。）

分解物質や燃焼物質は有毒のことがある。

### 6. 漏出時の措置

対策：全ての点火源を消す。漏出材料の拡散を止める。

不活性物質で吸収し廃棄するよう集める。

汚染した部分を水で強く洗浄する。

洗淨物が水路に入らないようにする。

廃棄物処理：本製品は出荷した状態で破棄すると、40 CFR 261 の着火性ありという危険廃棄物の EPA 基準に合致してしまう。

適用法令に従って許可された危険物廃棄場に廃棄する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

技術的対策：火気厳禁。電気機材は防爆構造にするほか静電気、スパークなどによる着火源を生じないようにする。吸入、接触のおそれがある時は適切な保護具を使用する。

注意事項：局所排気装置の設置、設備の密閉化又は全体換気を適正に行うことが望ましい。

保管上の注意：適切な換気のある乾燥した冷暗所（110 ° F / 43 を超えないこと）に密栓して保管する。

その他：消防法、労働安全衛生法等の法令に定めることに従う。

## 8. 暴露防止及び保護措置

呼吸器防護：必要があれば、NIOSH/MSHA 認可の有機性蒸気カートリッジ付呼吸器を使用すること。

換気：爆発防止付機械式換気装置及び、各部毎の排気装置の併用をお勧めします。作業従事者の保護のため、機械式排気装置単独では十分ではない。

手袋：不浸透手袋

眼の防護：化学物質飛沫防護ゴーグル

その他の防護措置：作業中接触のおそれのある場合は、つなぎ服、エプロン、不浸透足カバー等を使用すること。

適切な衛生対策：作業中は飲食、喫煙をしない。

設備対策：蒸気を吸入しないように、局所排気装置の設備、設備の密閉化又は全体換気を適正に行うことが望ましい。

許容濃度：日本産業衛生学会資料（2004-2005）に該当成分なし

## 9. 物理的及び化学的性質

形状：粘性ペースト

蒸気圧力：8 mm Hg at 68 ° F / 20

色：製品に記入

蒸気密度：3.1（空気 = 1）

比重：2.3

水溶性：若干

引火点：102 ° F / 39

臭気：マイルド臭

沸点 : > 240 ° F / 116                      蒸発率 : 0.7 (ブチルアセテート = 1)  
爆発 : 密閉した容器は高温に接すると破裂することがある。(内部圧力増加のため。)  
          分解物質や燃焼物質は有毒のことがある。

## 10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常の条件下では安定。    避けるべきこと : 極度の高温。  
危険な重合 : 発生しない              避けるべき材料 : 強い酸化剤  
危険融解物質 : 一酸化炭素、二酸化炭素、アルデヒド。

## 11. 有害性情報

変異原性 : エポキシ樹脂は厚生労働省通達で変異原性 クラス 1 が認められた  
          既存化学物質である。

## 12. 環境影響情報

現在の所知見なし。

## 13. 廃棄上の注意

産業廃棄物(廃油と廃プラスチック類の混合物)として許可を受けた専門業者に  
処分を委託する。  
乾燥して固形状になったものは、廃プラスチック類として処理する。  
空容器を廃棄するときは、内容物を完全に除去しておく。  
本製品は出荷した状態で廃棄すると、40CFR261 の着火性ありという危険廃棄物  
の EPA 基準に合致してしまう。適用法令に従って許可された危険物廃棄場に廃  
棄する。

## 14. 輸送上の注意

注意事項 : 7 の「取扱い及び保管上の注意」の項の記載に従うこと。  
国内規制 : 陸上輸送 消防法、労働安全衛生法等に定められた運送方法に従う。  
          海上輸送 船舶安全法に定められている運送方法に従う。  
          航空輸送 航空法に定められている運送方法に従う。  
国連分類 : クラス 3 (引火性液体)

## **15. 適用法令**

化学物質排出把握管理促進法（PRTR） 第一種指定化学物質（エポキシ樹脂）  
消防法 危険物第4類引火性液体第2石油類

## **16. その他の情報**

従業員に安全なシャワーと目の洗浄装置をそなえなければならない。  
汚染した衣服は直ちに脱衣し、再利用前に完全に洗濯すること。  
ここに記載された内容は、現時点で入手できた情報やメーカー所有の知見によるものですが、これらのデータや評価は、いかなる保証もするものではありません。また、法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。

# 化学物質等安全データシート (MSDS)

## 1. 製品及び会社情報

製品名 (エポクゾ) MS-440G / 400G 硬化剤  
製造者 ITW AMERIKAN SAFETY TECHNOLOGIES INC  
565 Eagle Rock Avenue Roseland New Jersey U.S.A  
日本総代理店 (株)シンコー プロダクト販売事業部  
長崎県佐世保市万津町7番1号  
TEL 0956-42-1523 FAX 0956-42-1632  
担当者 プロダクト事業部  
型式承認 国土交通省型式承認番号第 F-120 号 (H15 年 10 月 9 日)

作成者：プロダクト事業部 日付：15/01/05 改正版：1

## 2. 組織、成分情報

成分	CASNO	質量%	OSHA	ACGIH	その他
脂肪アミドアミン 樹脂	68991-84-4	50	未詳	未詳	
アミドアミン 樹脂	68443-08-3	50	未詳	未詳	LD50RAT> 1.23ml/kg Oral

## 3. 危険有害性の要約

### 人体災害

- 眼 : 過度の刺激があるか、炎症を起こす。  
永久視力障害になることがある。
- 皮膚 : 過度の刺激があるか、炎症を起こす。  
皮膚から有害になる量を吸収することがある。
- 吸入 : 上部呼吸器系に刺激があることがある。
- 経口摂取 : 口と喉に炎症を起こすことがある。  
少々有毒性の物質を含む。

接触により

悪化する症状：アレルギー、湿疹、その他の皮膚炎。

発ガン性データ：NTP, IARC, OSHA リストに該当なし。

過度の接触効果：刺激性、過敏症、皮膚炎。

#### 4. 応急措置

眼：大量の水で少なくとも 15 分間洗う。医療手当を受ける。

皮膚：汚れた衣服を脱ぐ。接触した部分をマイルドな石鹼と水で洗う。

吸入：新鮮な空気の所へ移動する。もし症状が続くときは医者に相談する。

経口摂取：嘔吐を誘発しないこと。もし意識があるならば薄めるため大量の水を与える。  
医療手当を受ける。

#### 5. 火災時の措置

消火剤：ドライケミカル又は、化学泡沫、炭酸ガス又は水

特別消火対策：点火源を全て取り除く。

蒸気に接触したり、爆発の可能性がある時は、自動吸入マスク等の完全人体保護装置を身につける。

消火を行う者の保護：消火作業の際には有害なガスを吸い込まないように呼吸用保護具を着用し、風上から消火作業を行う。

爆発の危険性：分解物質や燃焼物質は有害のことがある。

#### 6. 漏出時の措置

対策：全ての点火源を消す。

漏出材料の拡散を止める。

不活性物質で吸収し廃棄するよう集める。

汚染した部分を希酢酸（5%）で強く洗い元の状態に集め廃棄する。

廃棄物処理：本製品は出荷状態で廃棄しても 40 CFR 261 の危険廃棄物にはあたらない。  
廃棄方法については県または地方の担当官に相談すること。

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

技術的対策：火気厳禁。電気機材は防爆構造にするほか静電気、スパークなどによる着火源を生じないようにする。吸入、接触のおそれがある時は適切な保護具を使用する。

注意事項 : 局所排気装置の設置、設備の密閉化又は全体換気を適正に行うことが望ましい。

保管上の注意 : 適切な換気のある乾燥した冷暗所 ( 110 ° F / 43 ° C を超えないこと ) に密栓して保管する。

その他 : 消防法、労働安全衛生法等の法令に定めることに従う。

## 8. 暴露防止及び保護措置

呼吸器防護 : 必要があれば、NIOSH/MSHA 認可の有機性蒸気カートリッジ付呼吸器を使用すること。

換気 : 各部毎の排気をお勧めします。  
作業従事者の保護のため、機械式排気装置単独では十分ではない。

手袋 : 不浸透手袋またはプラスチック手袋。

眼の防護 : 化学物質飛沫防護ゴーグル

その他の防護措置 : 作業中接触のおそれのある場合は、つなぎ服、エプロン、不浸透足カバー等を使用すること。

適切な衛生対策 : 作業中は飲食、喫煙をしない。

設備対策 : 蒸気を吸入しないように、局所排気装置の設備、設備の密閉化又は全体換気を適正に行うことが望ましい。

許容濃度 : 日本産業衛生学会資料 ( 2004-2005 ) に該当成分なし

## 9. 物理的及び化学的性質

形状 : 黄色のペースト状

蒸気圧力 : 未詳

色 : 製品に記入

蒸気密度 : 未詳

比重 : 0.90

水溶性 : ややあり

引火点 : 102 ° F / 39 ° C PMCC

臭気 : 溶剤臭

沸点 : > 230 ° F / 110 ° C PMCC

蒸発率 : 未詳 ( ブチルアセテート = 1 )

## 10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常の条件下では安定。

避けるべきこと : 極度の高温。

避けるべき材料 : 強い酸化剤。

危険融解物質 : 一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物。

危険な重合 : 発生しない。



## 11. 有害性情報

急性毒性：製品としてのデータはない。

局所効果：製品としてのデータはない。

## 12. 環境影響情報

現在の所知見なし。

## 13. 廃棄上の注意

産業廃棄物（廃油と廃プラスチック類の混合物）として許可を受けた専門業者に処分を委託する。

乾燥して固形状になったものは、廃プラスチック類として処理する。

空容器を廃棄するときは、内容物を完全に除去しておく。

本製品は出荷した状態で廃棄すると、40CFR261 の着火性ありという危険廃棄物の EPA 基準に合致してしまう。適用法令に従って許可された危険物廃棄場に廃棄する。

## 14. 輸送上の注意

注意事項：7 の「取扱い及び保管上の注意」の項の記載に従うこと。

国内規制：陸上輸送 消防法、労働安全衛生法等に定められた運送方法に従う。

海上輸送 船舶安全法に定められている運送方法に従う。

航空輸送 航空法に定められている運送方法に従う。

国連分類：クラス 3（引火性液体）

## 15. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法（PRTR）該当製品なし。

消防法 危険物第 4 類引火性液体第 2 石油類

## 16. その他の情報

従業員に安全なシャワーと眼の洗浄装置をそなえなければならない。

汚染した衣服は直ちに脱衣し、再利用前に完全に洗濯すること。

ここに記載された内容は、現時点で入手できた情報やメーカー所有の知見によるも

のですが、これらのデータや評価は、いかなる保証もするものではありません。  
また、法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。